

7. 竹田市バイオマス産業都市構想の概要

大分県竹田市、人口 約2.2万人、面積 約4.8万ha

構想の概要

地域資源であるバイオマスや竹資源を活用した、再生可能エネルギーの利用促進や農業への活用、さらに観光事業との連携により、森林環境や里山の再生、農林業の活性化、竹田市ブランドの普及、産業振興と雇用の創出を図り、環境にやさしく災害に強い、自立的で持続可能なまちづくりの構築を目指す。

1. 将来像

- ① バイオマスや竹資源による環境保全や地域活性化と産業振興
- ② 自立分散型エネルギーシステムによる災害に強い町づくり
- ③ 地球温暖化防止と循環型社会の構築

2. 目標(10年後)

未利用バイオマス

間伐材: 26%→燃料利用等により70%を利用
果樹剪定枝: 10%→燃料利用等により30%利用
竹: 0%→竹炭や竹粉での利用により50%を利用

廃棄物系バイオマス

乳牛ふん尿: 90%→バイオガス事業推進により100%を利用
生ごみ: 0%→バイオガス事業推進により10%を利用
し尿・浄化槽汚泥: 0%→バイオガス事業推進により100%を利用

3. 事業化プロジェクト

- ① 木質バイオマス燃料製造プロジェクト
 - ・市内の木質バイオマスの供給体制づくり
 - ・民間事業者によるチップ製造設備、加工品製造設備の導入
- ② 木質バイオマス熱利用プロジェクト
 - ・市内温浴施設3カ所に木質バイオマスボイラーを導入
- ③ 竹の利活用プロジェクト
 - ・竹資源の利活用による観光振興とバイオマス利用によるブランド化

4. 地域波及効果

経済波及効果: 2.0億円、新規雇用創出効果: 17人
温室効果ガス(CO₂)排出削減量: 876 t-CO₂/年
森林の再生(放置竹林対策、里山保全、水害等の防災)

5. 実施体制

- ・市が事務局となり「竹田市バイオマスエネルギー推進協議会(仮称)」を設置、構想全体の進捗管理や各種調整、HP等情報発信を行う。
- ・協議会は森林組合や林業関係者、NPO、地元企業等で構成され、必要に応じて事業化プロジェクトの実施主体に対して助言を行い、情報の共有化と連携の強化を図る。

6. その他

- ・平成29年度に総務省補助事業で「竹田市分散型エネルギーインフラプロジェクト」を策定、家畜ふん尿等のバイオガス事業について検討を行った。
- ・平成30年度に環境省補助事業で「竹田市木質バイオマスエネルギー熱利用設備導入計画」を作成、熱利用の検討を行った。

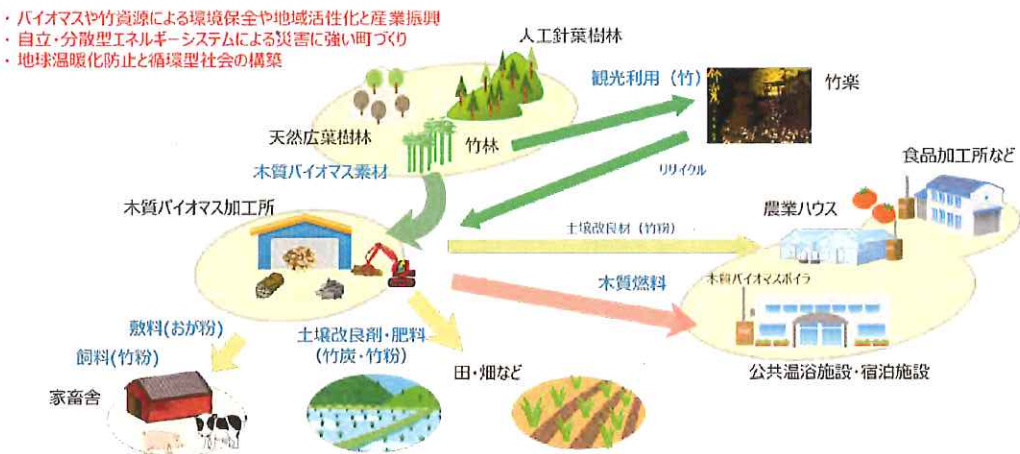
<主な関連計画>

- ・竹田市地域新エネルギービジョン(2010)
- ・竹田市地方創生TOP総合戦略(2015)
- ・竹田市再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン及び設置手続きに関する要綱(2019)

竹田市バイオマス産業都市構想 バイオマス活用イメージ

竹田市バイオマス産業都市構想の概要

竹田市バイオマス産業都市構想案(将来像)



木質バイオマス燃料製造プロジェクト



木質バイオマス熱利用プロジェクト



竹の利活用プロジェクト

